

(参考様式 6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
那須塩原市西那須野・大貫地区活性化計画 改善計画書

令和 5 年 9 月 2 9 日 作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
栃木県	那須塩原市	西那須野・大貫 地区	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度	平成 28 ～ 30 年度 及び令和 2 年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
受入機能強化施設	農産物直売施設の整備 916.27 m ²		ふるさとにしなす産直会	
自然・資源活用施設	太陽光発電パネル設置 466 m ² (276 枚)			

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
農業体験イベント開催回数	25 回	15 回	60.0%	
温室効果ガス排出量の削減	93.6 t - C O	64.7 t - C O	69.1%	

2 効果の発現状況及び目標が達成されなかった要因

農業体験イベントの開催については、評価期間 1 年目（平成 30 年度）及び 2 年目（令和元年度）は目標を達成したが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限やイベント等の自粛により、イベントを開催することができなかった。

また、温室効果ガス排出量の削減については、発電量の多い日中における電気使用量が少なかったため、計画期間 1 年目（令和 2 年度）の達成率が低くなり、計画目標を達成することができなかった。

効果の発現状況については、目標の達成に直接関係するものだけでなく、事業実施によって生じた地域の変化（取組への参加や話合いの回数）等についても記載すること。要因分析に当たっては、事業実施に係る要因と事業を取り巻く環境要因に分けて記載すること。環境要因については、社会経済動向、関連する施策の状況、実施地区を含む地域全体の動向等の考えられる要因を具体的に記載するとともに、事業実施地区における過去の指標の推移によるトレンドの把握や事業実施地区を含む地域全体や近隣地区における指標の推移との比較等により、事業実施による効果及び目標が達成されなかった要因を適切に分析すること。

3 目標達成に向けた方策

目標達成予定年度	令和7年度
事業の推進体制	市、関係機関、地元団体、生産者等との連携を図る
具体的取組方策	<p>農業体験イベントの開催については、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから、令和5年度以降、コロナ発生前と同様に、様々な体験イベントを企画し、生産者等と連携を図りながら取り組んでいく。</p> <p>また、温室効果ガス排出量の削減については、これまで以上に発電量の多い日中に電気を使用するよう各部門の作業時間等の見直しを実施し、購入発電量の削減及び日中の発電量の増加を図る。</p>

4 改善計画に対する第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>農業体験イベントについては、同団体はコロナ発生前から、積極的にイベントを開催しており、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから、今後もこれまで同様の積極的なイベントの開催が期待できるため、目標を達成するものと推察します。</p> <p>また、温室効果ガス排出量の削減については、発電量の多い日中に電気を使用するよう各部門の作業時間等の見直しを行うとのことだが、見直しにおいては、専門的な見識を持つ方の意見を取り入れるなど、詳細な分析、検討を実施していただき、早期の目標達成に向けて努力していただきたいと考える。</p> <p style="text-align: right;">三区町自治会長 道音 康夫</p>

第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。

(参考様式6添付資料)改善計画書及び目標達成状況報告書の達成率等算出根拠
 栃木県 那須塩原市
 西那須野・大貫地区活性化計画

目標値

(単位:回)

区 分			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
農業体験イベント回数			7	8	10			7	8	10
	事業実施前(現状)	0	評価期間(目標)			25		改善期間(目標)		25

実績値

(単位:回)

区 分			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
農業体験イベント回数			7	8	0	0	0			
	事業実施前(現状)	0	評価期間(目標)			15		改善期間(目標)		0

【事後評価】

= 目標値A = (目標－現状) = 25

= 実績値B = (実績－現状) = 15

【改善計画の事後評価】

' = 目標値A = (目標－現状) = 25

' = 目標値B = (目標－現状) = 0

達成率 = $\frac{15}{25} = 60.00\%$ 未達成



達成率 = $\frac{0}{25} = 0.00\%$ 未達成

(参考様式6添付資料)改善計画書及び目標達成状況報告書の達成率等算出根拠

栃木県 那須塩原市

西那須野・大貫地区活性化計画

目標値

(単位:t CO₂)

区分				R2	R3	R4	R5	R6	R7
温室効果ガス排出量の削減				18.72	37.44	37.44	18.72	37.44	37.44
	事業実施前(現状)	0	評価期間(目標)	93.60	改善期間(目標)	93.60			

実績値

(単位:t CO₂)

区分				R2	R3	R4	R5	R6	R7
温室効果ガス排出量の削減				8.69	27.33	28.67			
	事業実施前(現状)	0	評価期間(目標)	64.69	改善期間(目標)	0.00			

【事後評価】

= 目標値A = (目標-現状) = 94

= 実績値B = (実績-現状) = 65

達成率 = $\frac{65}{94}$ = 69.11% 未達成

【改善計画の事後評価】

' = 目標値A = (目標-現状) = 94

' = 目標値B = (目標-現状) = 0

達成率 = $\frac{0}{94}$ = 0.00% 未達成

